



# 東京園芸ニュース(28年度-101号)

平成29年2月 / 群馬県東京園芸情報センター

## ぐんまちゃん家で県産食材100%のすき焼きランチ！ 冬の特産！本県産ちぢみほうれん草のPRも併せて実施！

- 日時 / 1月24日(火)～25日(水) 11:00～14:00
- 会場 / ぐんまちゃん家2階イベントコーナー (東京都中央区銀座)
- 主催 / ぐんまちゃん家 (すき焼きランチ)、東京園芸情報センター (ちぢみほうれん草試食宣伝)
- 協力 / (株)オルビス、片倉工業(株)、JA佐波伊勢崎、中之条町、東吾妻町、みなかみ町、川場村、ぐんまブランド推進課

### 本県産食材100%のすき焼きランチは行列ができる盛況ぶり

本県は全ての食材を県産でまかなえることから“すき焼き自給率100%”の県として、平成26年から『すき焼き応援県』を宣言しています。そして、県の魅力が結集したすき焼きをおもてなし料理として推奨し、県をあげて全国へ発信し、また県民の食として定着させるため関係機関と連携し「ぐんま・すき焼きアクション」を進めています。今回は東京銀座のぐんまちゃん家にてそんなおもてなし料理をランチとして提供し、本県の魅力をすき焼きを通じて発信しました。

今回使用した食材は表のとおりで、牛肉には上州牛、しいたけの代わりに食物繊維が豊富で独特の食感が特徴のはなびらたけを使用し、ぐんまちゃん家オリジナルの100%県産すき焼きランチを提供しました。当日は行列ができるほどの大変な盛況ぶりで、食事を終えた方からは一様に「おいしかった。」の声が聞かれました。2日間合計で202食が提供され、両日とも終了時間を待たずして品切れとなり、好評のうちに終了しました。



ぐんまちゃん家亭すき焼きランチ (税込み680円)  
ぐんまちゃん家亭すき焼きランチ 使用食材

食 材	産地 又は 銘柄
牛肉	「上州牛」(肩ロース、リブロース)
はなびらたけ	前橋市
春菊	伊勢崎市
ねぎ	伊勢崎市
しらたき	東吾妻町
卵	中之条町
白米	みなかみ町「水月夜」 川場村「雪ほたか」 中之条町「花ゆかり」

### 今後のちぢみほうれん草の消費拡大に期待！

すき焼きランチと併せて、本県の冬の特産であるちぢみほうれん草 (JA佐波伊勢崎産) の試食宣伝及び食味評価や消費動向などのアンケート調査を実施しました。

食味評価では、甘み・香り・食感・おいしさ (総合評価) の各項目を5点満点で評価していただき、結果は表のとおりで、総合的なおいしさの評価が平均4.4点と高い評価を得ることができ、甘さなどの他項目でも平均が4点を超えました。一方、中にはちぢみほうれん草の最大の特徴である“甘さ”を1、2点と評価とする方も数名おり厳しい意見もありました。

そのほか、ちぢみほうれん草の消費動向調査では、全体の半数近くがちぢみほうれん草を認知 (55%) し、食べたことがある (48%) と回答し、30代を除き高齢層ほどその割合が高まる傾向が見られました。また、食べたいちぢみほうれん草として、甘みが強いことや鮮度が良いことが多く挙げられました。そのほか、ほうれん草及びちぢみほうれん草の産地として群馬県をイメージする方が他の都道府県に比べて多い結果となりました。

同会場では、片倉工業(株)による「はなびらたけ」

の紹介も行われ、独特の食感や栄養素などの特徴のほか、本県前橋市にある工場やおすすめの調理方法等が紹介されました。



はなびらたけの紹介



試食提供したちぢみほうれん草



PRとともに販売も実施



来場者でにぎわう会場の様子

### 本県産ちぢみほうれん草の食味評価

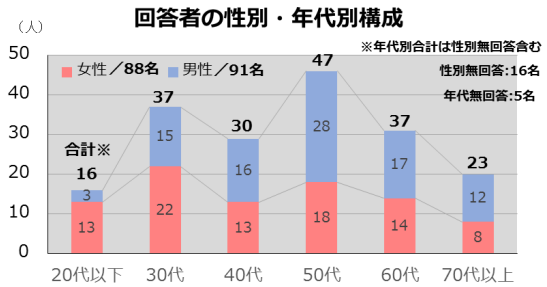
甘み	4.1
食感	4.2
見た目	4.1
<b>おいしさ(総合評価)</b>	<b>4.4</b>

※5点満点評価

# ちぢみほうれん草に関するアンケート調査結果

## 1 実施概要

- 日 時 / 1月24日(火)~25日(水)  
11:00~14:00
- 回答者 / ぐんまちゃん家すき焼きランチ  
イベント来場者
- 回答数 / 195名
- アンケート配布方法 /  
ちぢみほうれん草の試食提供とともに、  
アンケートを配布し回答を依頼



## 2 試食した本県産ちぢみほうれん草の食味評価

出荷最盛期を迎えている本県産ちぢみほうれん草を試食提供し、甘さ・食感・見た目・おいしさ（総合評価）の各項目について5点満点で評価を受けたところ、次の表及びグラフのとおりとなった。

甘み・食感・見た目はそれぞれ平均が4点を超える評価となったが、甘さ評価では最低点の1点をつける方もおり、最大のアピールポイントである甘さに対して厳しい意見もあった。

しかし、総合的なおいしさの評価では他の項目よりも高く平均4.4点となった。4、5点評価とする方が多く、中でも比較的男性よりも女性からの支持が多く見られた。

試食提供時には簡単レシピ集も併せて配布し調理方法の提案も行い、本県の冬の特産ちぢみほうれん草のおいしさ、魅力を十分に伝えることができた。

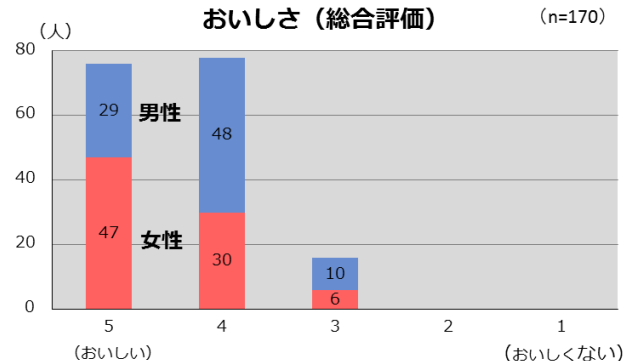
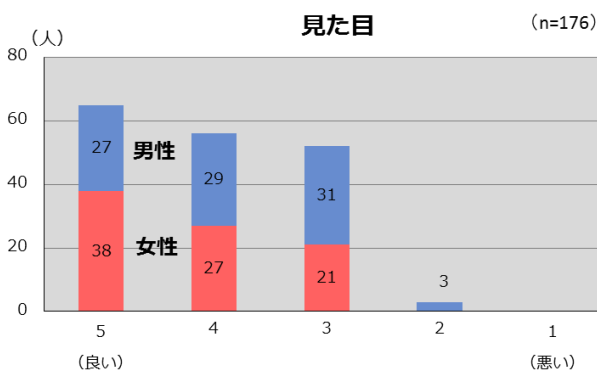
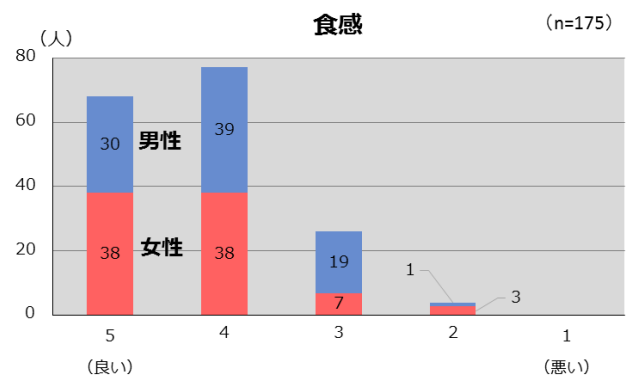
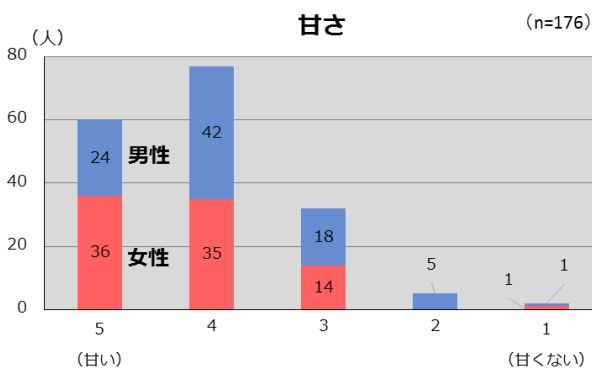
本県産ちぢみほうれん草の食味評価

甘み	4.1
食感	4.2
見た目	4.1
<b>おいしさ(総合評価)</b>	<b>4.4</b>

※5点満点評価

その他、回答者からは以下のような感想も聞かれた。

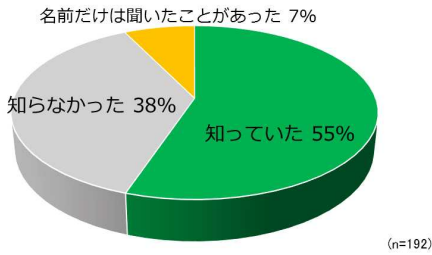
- 歯ごたえがシャッキリしていて甘みも強く、えぐみも無くおいしい。
- しっかりとした甘みとコクがあった。
- ほうれん草が苦手だが、食べられた。
- 普通のものより濃い気がする。
- 本来はもっと甘みがあるものだと思うが、今回は甘みを感じない。
- とても栄養がありそうなので、冬はよく買っている。



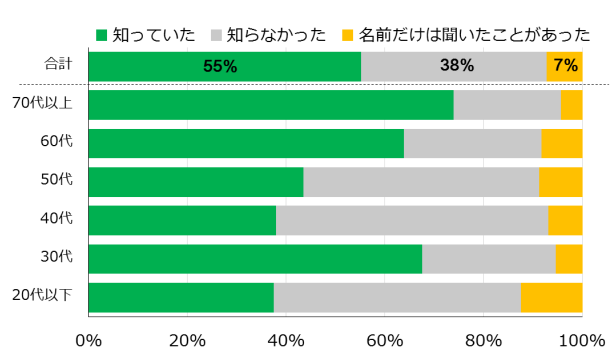
### 3 「ちぢみほうれん草」を知っているか？

ちぢみほうれん草の認知度を聞いたところ、認知している方が55%と半数程度にとどまった。30代は60%を超えて前後の年代とは大きく差があったが、それ以外の年代では高齢ほど認知度は高まる傾向が見られた。

「ちぢみほうれん草」を知っているか？



「ちぢみほうれん草」を知っているか？(年代別) (n=187)

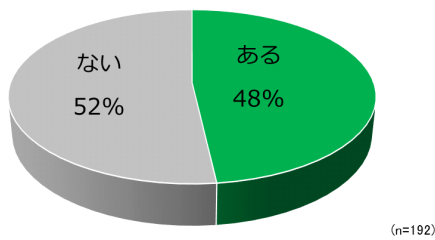


### 4 ちぢみほうれん草を食べたことがあるか？

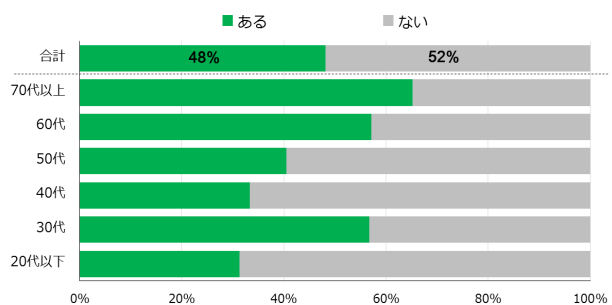
ちぢみほうれん草を食べたことがあるかを聞いたところ、食べたことがある方は48%で半数に届かず、年代別に見ると前項（認知度）と同様に30代を除いて高齢層ほど割合が高まった。認知度の結果と併せてみると、ちぢみほうれん草を知っていたとしても食べたことが無い方が15%（16名）いた。

また、これまでちぢみほうれん草の存在を知らずにいた38%の方については、今後消費が拡大する伸びしろとも考えられ、さらなるPRや普及が求められる。

ちぢみほうれん草を食べたことあるか？



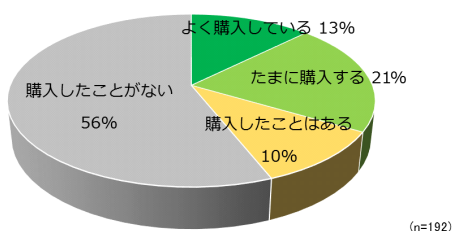
ちぢみほうれん草を食べたことあるか？(年代別)



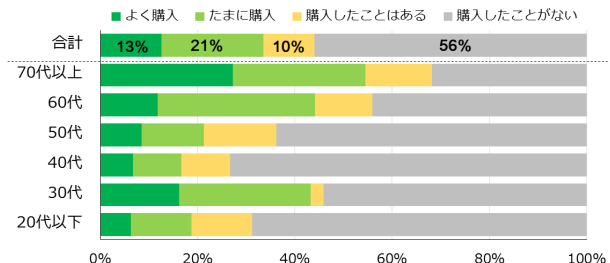
### 5 ちぢみほうれん草を購入して食べるか？

ちぢみほうれん草をスーパーマーケットなどで購入して食べているかを聞いたところ、「よく購入している」が13%、「たまに購入している」が21%となり、合わせて34%の方が（頻度は別として）定期的に購入していることがわかった。前項までの結果（認知度や食べた経験）と同様に30代を除いて高齢層ほど購入するケースが多い結果となった。また、30代は定期的に購入している割合も他の年代に比べて高かった。

ちぢみほうれん草をスーパーで購入する？



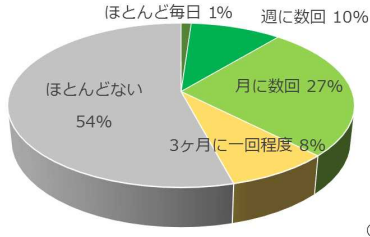
ちぢみほうれん草をスーパーで購入する？(年代別)



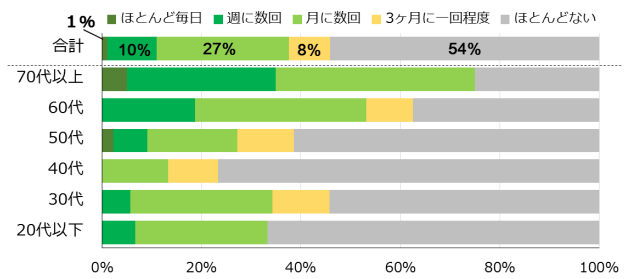
### 6 ちぢみほうれん草を食べる頻度は？

ちぢみほうれん草の主な流通期間（12～2月）に、ちぢみほうれん草をどの程度食べるかを聞いたところ、「週に数回」が10%、「月に数回」が27%となり、全体の30%以上が月に数回以上食べるということがわかった。また、70代、20代は食べている方全員が月に数回以上食べていた。

### ちぢみほうれん草を食べる頻度は？



### ちぢみほうれん草を食べる頻度は？（年代別）

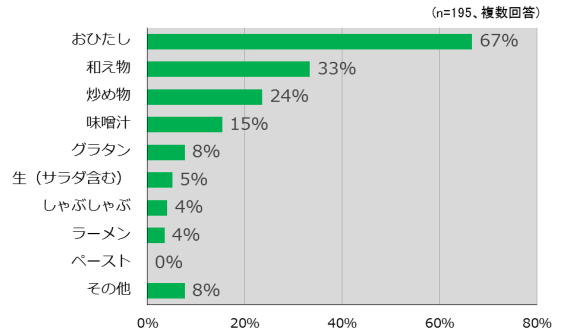


## 7 ちぢみほうれん草の食べ方は？

ちぢみほうれん草の食べ方（調理方法等）を聞いたところ、最も多かったのは「おひたし」で全体の2/3（67%）を占め、続いて「和え物」が33%と多かった。そのほかはグラフのとおりで、「炒め物」24%や「味噌汁」15%の順で多かった。

「その他」の回答として、鍋やすき焼き、うどんのほか、ナムル、キッシュなどがあつた。

### ちぢみほうれん草の食べ方は？



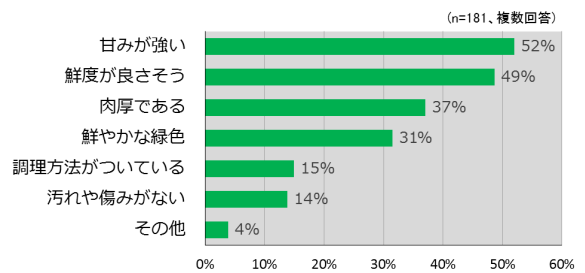
## 8 どんなちぢみほうれん草なら食べたいか？

どんなちぢみほうれん草なら食べたい（購入したい）かを聞いたところ、「甘みが強い」が52%で最も多く半数を超え、続いて「鮮度が良さそう」も49%で半数近くとなった。

甘みや肉厚さが特徴のちぢみほうれん草においても、他の青果物と同様に求められる品質として“鮮度”が重視されることがわかつた。

「その他」の意見として、苦みがないことや生で食べられること、減農薬などがあつた。

### どんなちぢみほうれん草を食べたいか？



## 9 ちぢみほうれん草 及び ほうれん草の産地といえば？

ちぢみほうれん草、ほうれん草の産地としてイメージする都道府県を聞いたところ、本県のアンテナショップで実施している影響もあるが、ほうれん草、ちぢみほうれん草とも群馬県産が最も多い結果となった。東京都中央卸売市場における都道府県別のほうれん草入荷量と比べると、細かなズレはあるものの概ねアンケートの回答で出てきた都県が上位となっている。

平成28年東京都中央卸売市場におけるほうれん草の都道府県別入荷量

順位	産地	出荷量 (t)	占有率
1	群馬	4,629	32.1%
2	茨城	3,735	25.9%
3	栃木	1,561	10.8%
4	埼玉	1,391	9.6%
5	千葉	1,308	9.1%
6	岩手	762	5.3%
7	岐阜	397	2.8%
8	東京	137	1.0%
9	北海道	121	0.8%
10	長野	68	0.5%

出典：東京都中央卸売市場統計

### ちぢみほうれん草の産地としてイメージする都道府県は？

